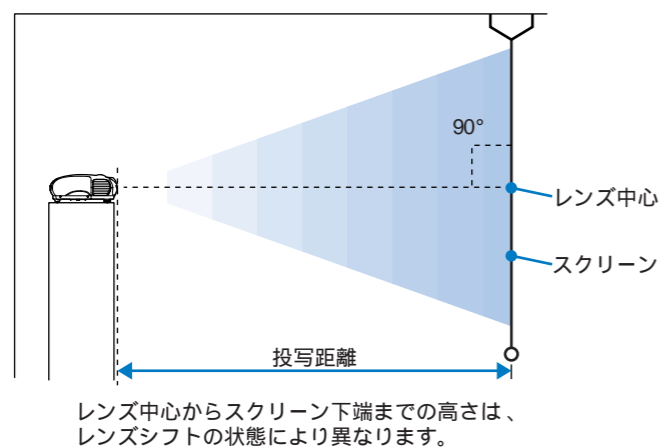


セットアップガイド

1 ▶ 設置しよう

● 投写サイズを調整する

本機のレンズからスクリーンまでの距離により投写画面サイズが異なります。



下表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさに映るように設置してください。値は目安です。

単位 : cm

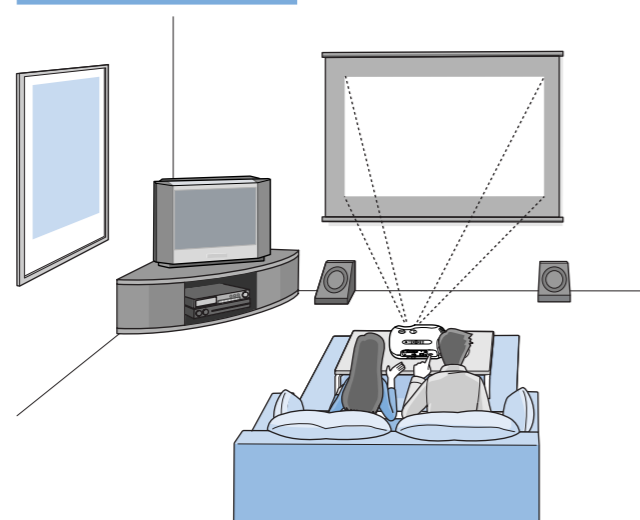
16:9 スクリーンサイズ	投写距離	
	最短 (ズーム調整ワイド)	最長 (ズーム調整テレ)
30型	66x 37	87 ~ 133
40型	89x 50	118 ~ 179
60型	130x 75	179 ~ 270
70型	154x 87	209 ~ 316
80型	180x 100	240 ~ 361
100型	220x 120	301 ~ 452
200型	440x 250	606 ~ 909
300型	660x 370	911 ~ 1365

単位 : cm

4:3 スクリーンサイズ	投写距離	
	最短 (ズーム調整ワイド)	最長 (ズーム調整テレ)
30型	61x 46	108 ~ 164
40型	81x 61	146 ~ 220
60型	120x 90	221 ~ 332
70型	142x 106	258 ~ 388
80型	160x 120	295 ~ 443
100型	200x 150	370 ~ 555
200型	410x 300	745 ~ 1114
300型	610x 460	1119 ~ 1672

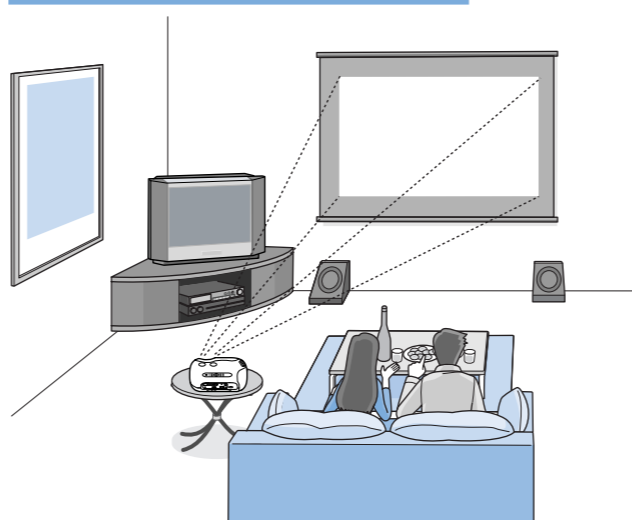
いろいろな投写方法

正面から投写する



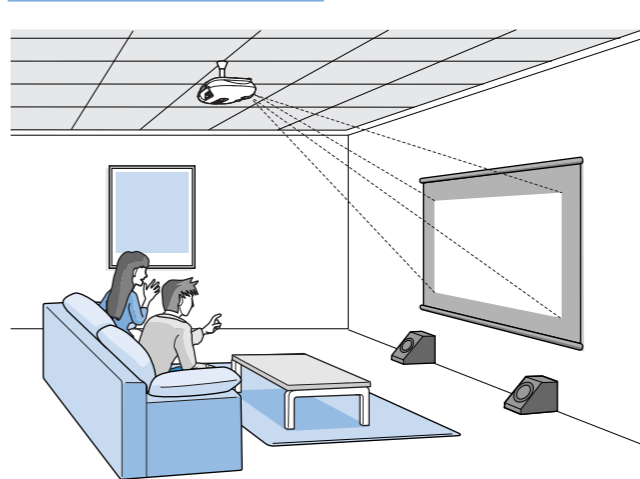
- 寝室などホコリの多い部屋への設置は、できるだけ避けてください。エアフィルターは約3ヶ月に一度は掃除してください。ホコリの多い環境では、より短い周期で掃除を行ってください。

スクリーンのサイドから投写する

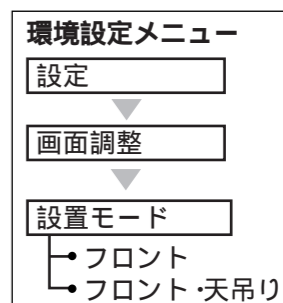


- 実際に設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をあけてください。

天吊りして投写する



天吊りにして投写する場合は、環境設定メニューの設定を変更します。



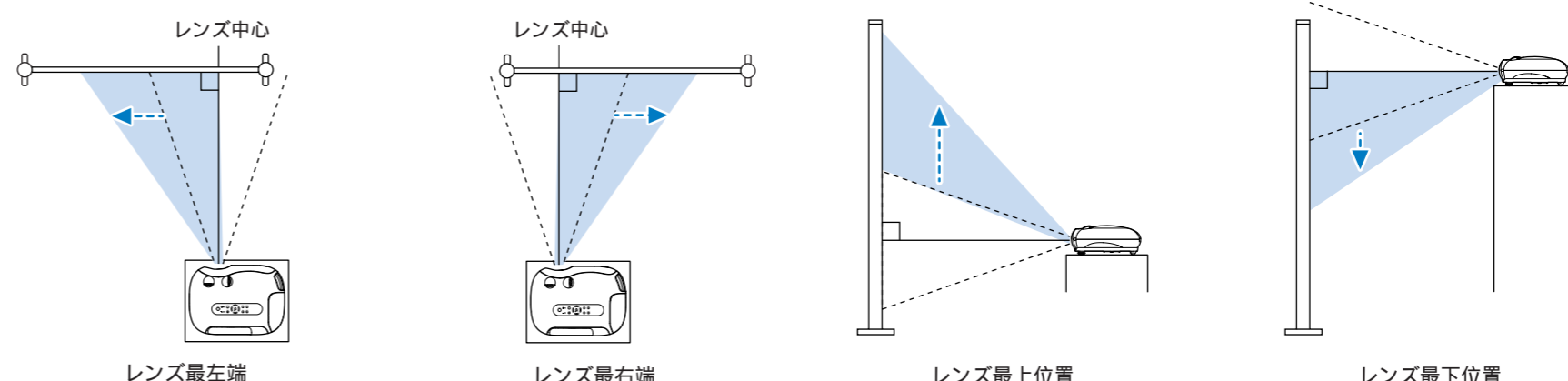
- 天吊りには特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

レンズシフトの範囲

レンズシフトダイヤルを使って映像を投写する位置を調整できるため、次のように設置場所を選びません。

- 天吊りで使用するとき
- 高い位置にスクリーンがあるとき
- スクリーンの正面に座って映像を見るために本機を横に置くとき
- 棚の上などに本機を置くとき

レンズシフトは、映像がゆがむことなく映像の位置を調整できます。『投写画面を調整する』投写映像の位置調整(レンズシフト)



点線の範囲は、レンズの中央位置からの投写範囲です。

2 ▶ 映像機器と接続しよう

- 注意**
- 接続する前に接続機器の電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
 - ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。

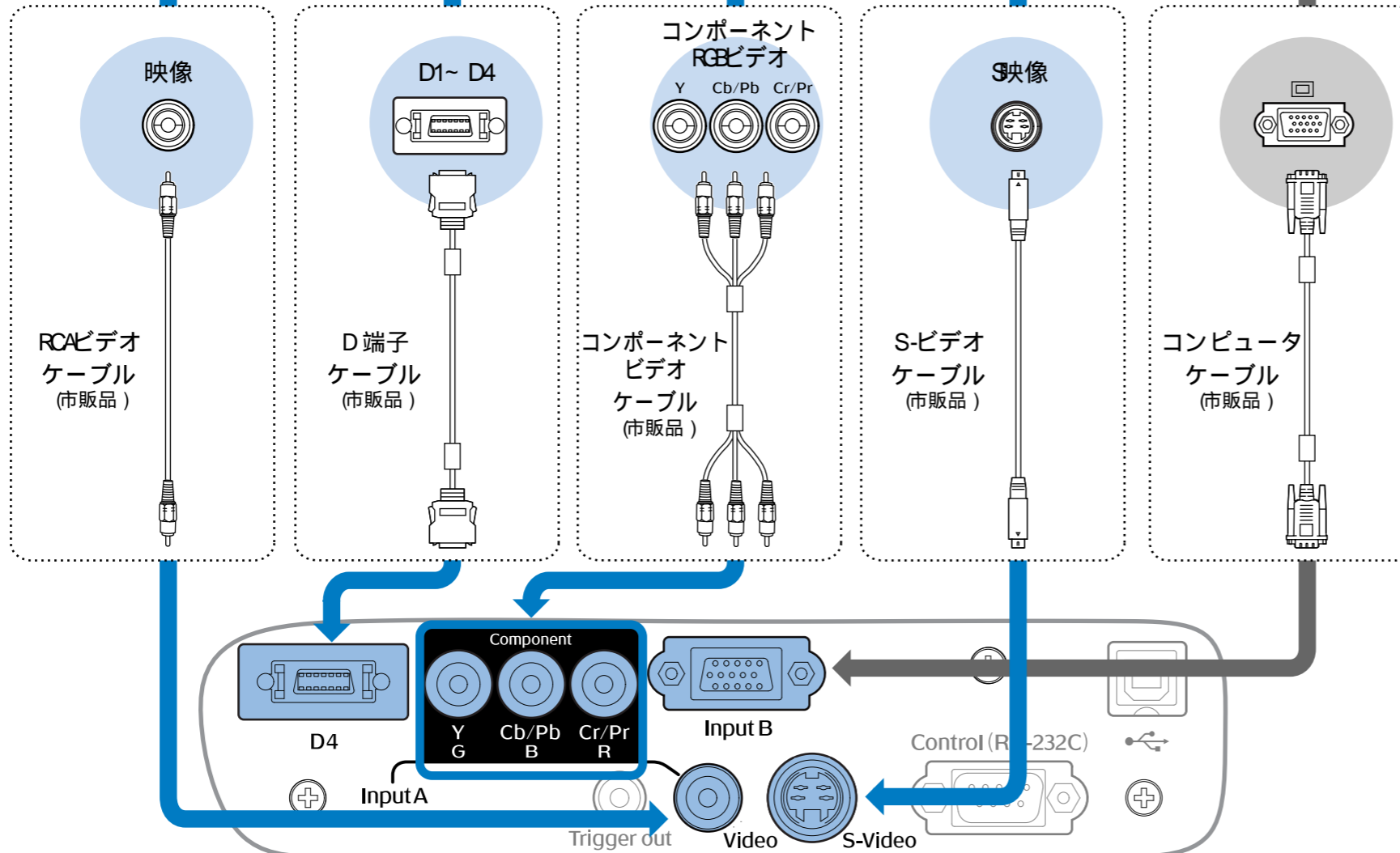
接続する機器によってはその機器特有のコネクタ形状をしている場合があります。その場合は、その機器の同梱がオプションのケーブルで接続します。

ビデオ機器 (VHSビデオ、DVDプレイヤー、BSチューナ、CSチューナ、ゲーム機等)



端子名称は接続機器によって異なることがあります。

コンピュータ

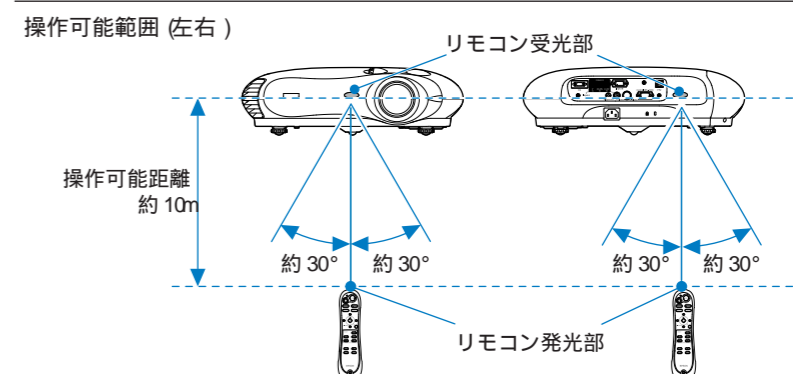


3 ▶ リモコンの準備

リモコンに電池をセットする

リモコンには電池がセットされていません。使い始めるときは、同梱の電池をセットします。

- 1 電池カバーを外します。
つまみを押さえながら、上へ持ち上げます。
- 2 電池をセットします。
電池ホルダ内の (+) (-) の表示を確認し、電池の向きを間違えないようにセットします。
- 3 電池カバーを取り付けます。
ツメの部分を差し込みます。カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



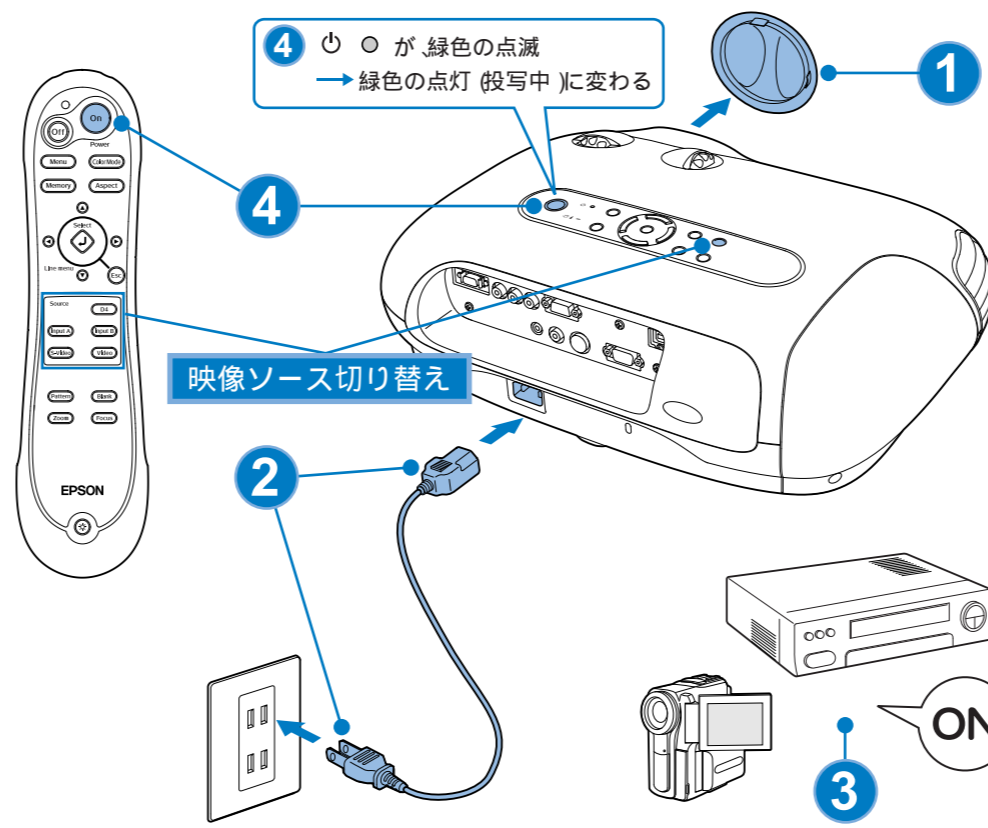
電池の交換時期について

使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなった場合は電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池には、新品の単形アルカリ乾電池2本を用意してください。

4 ▶ 電源を入れて投写しよう

- 1 レンズカバーを付けている場合は、外します。
- 2 同梱の電源ケーブルで電源プラグと接続します。
- 3 接続機器の電源を入れます (ビデオ機器の場合は、[再生] や [プレイ] ボタンを押して、映像を再生します)。
- 4 本機の電源を入れます。しばらくするとランプが点灯し、投写を開始します。

ポイント 本機には、お様が電源を入れ、誤ってレンズをのぞかないための「チャイルドロック」機能や、誤操作などを防ぐ「ロック設定」機能があります。
『取扱説明書』「環境設定メニュー」の機能」



映像ソースを切り替える

接続機器を複数接続している場合や、映像が映らないときは、リモコンまたは本体のボタンを押して映像ソースを切り替えます。

リモコンでの切り替え

投写したい機器を接続している端子名が表記されたボタンを押します。

[D4] 端子、または [Input A] 端子に接続している場合は、接続している機器の映像信号に合うように [D4] または [Input A] を押して映像信号を切り替えます。
初期設定：[D4] 端子 YCbCr、[Input A] 端子 YCbCr

[D4] を押すたび [Input A] を押すたびに切り替わります。切り替わります。
YCbCr ↔ YPbPr → YCbCr → YPbPr → RGB-Video

本体操作パネルからの切り替え



セレクトメニュー

[Source] を押すと、セレクトメニューが表示されます。 [Source] で映像ソースを選択します。
[Enter] を押して決定します。

「D4」、「Input A」を選択すると信号方式を選択するメニューが表示されます。接続している機器の映像信号と一致するものを選択します。

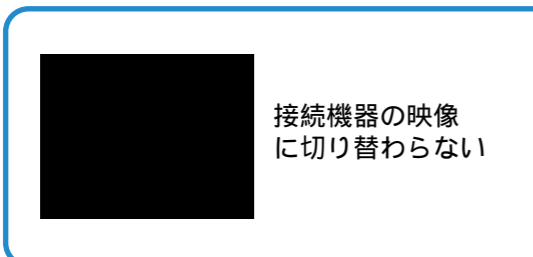
ポイント

- 本機には、接続している RGBビデオ映像やコンピュータ映像の入力信号が切り替わったときに、自動で最適な状態にする自動調整機能が装備されています。
- ノートタイプや液晶一体型のコンピュータを接続したときは、キーや設定によって映像信号の出力先を切り替える必要があります。切り替えは [Fn] を押し続けたまま [F5] (□ / □) などの記載がキー上にある [Fn] を押して行います。切り替え後、しばらくすると投写を開始します。『コンピュータの取扱説明書』

出力切り替えの一例	
富士通	[Fn] + [F5]
シャープ	[Fn] + [F5]
NEC	[Fn] + [F5]
Parasonic	[Fn] + [F5]
東芝	[Fn] + [F5]
IBM	[Fn] + [F5]
SONY	[Fn] + [F5]
富士通	[Fn] + [F5]
Macintosh	再起動した後、コントロールパネルの調整でミラーリングの設定をする。

? 映像が切り替わらない 正しく映らないときは

本機を正しく設置・接続しているのに投写に問題があるときは、下記の点を確認してください。以下をご覧になっても解決できないときは、『取扱説明書』インジケータを見てもわからないときは、



入力中の映像信号の種類と本機の設定は合っていますか?
[Input A] 端子接続時

ビデオ機器側で映像を再生していますか?

[Input A] または [Source] を押して、機器の信号に合った信号方式を選択してください。

ビデオ機器で再生ボタンやプレイボタンを押してください。

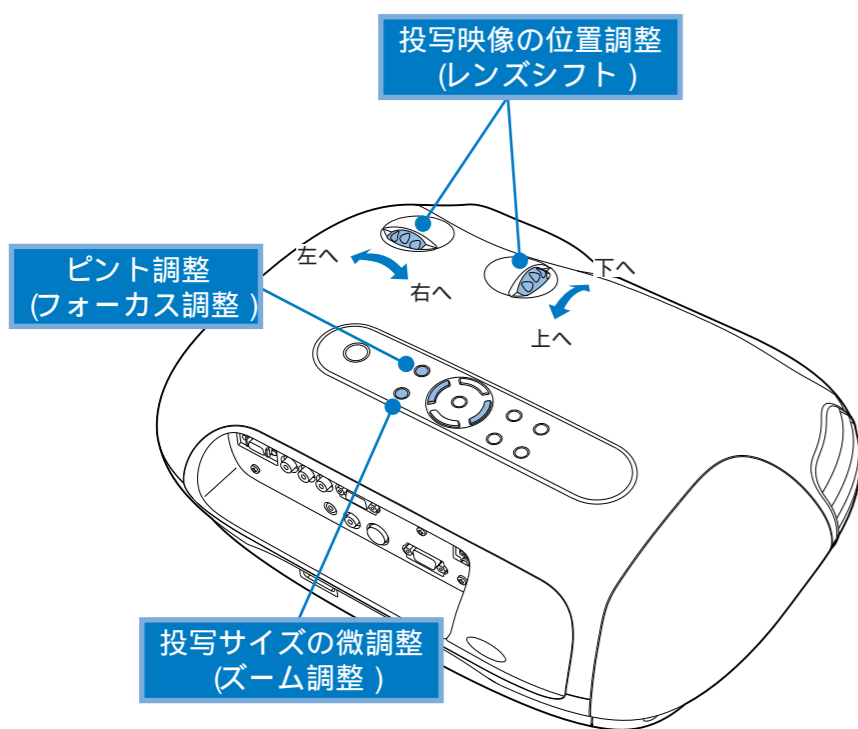


映像が緑がかっている / 赤紫がかっている

入力中の映像信号の種類と本機の設定は合っていますか?
[Input A] 端子接続時

[Input A] または [Source] を押して機器の信号にあった信号方式を選択してください。

5 ▶ 投写画面を調整する



ズーム調整・フォーカス調整は、ランプ点灯後から行えます。
[Zoom/Focus] は1回押すと1ステップ、押し続けると連続して調整できます。

ピント調整 (フォーカス調整)

[Focus] を押すと調整画面が表示されます。
[Zoom/Focus] を押して調整します。
再び [Focus] を押すと調整画面の表示が終了します。

投写映像の位置調整 (レンズシフト)

2Dのレンズシフトダイヤルを使って映像の位置を調整します。レンズシフトダイヤルを動かした場合に、手ごたえのある箇所があります。そこがシフト範囲のほぼ中心です。また、レンズシフトダイヤルが重くなり、投写映像が移動しなくなった場合は、最端位置に達したことを示しています。
『「設置しよう」 レンズシフトの範囲』

投写サイズの微調整 (ズーム調整)

[Zoom] を押すと、調整画面が表示されます。
[Zoom/Focus] を押して拡大縮小します。
再び [Zoom] を押すと調整画面の表示が終了します。

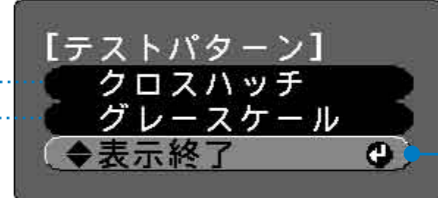
ポイント [Zoom/Focus] を押した場合に、画面に [L] が表示され、調整できないときは、「電動ズームロック」「電動フォーカスロック」が働いています。調整する場合は、オフにしてください。
『取扱説明書』「環境設定メニュー」の機能」

テストパターン表示

本機を設置するときなどに、テストパターンを表示させて台形補正やラインメニューによる調整ができます。

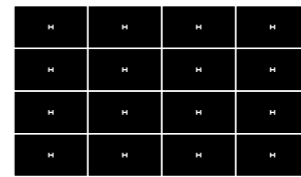
リモコンの [Pattern] を押すと、パターン選択のセレクトメニューが表示されます。

セレクトメニュー



パターン表示を終了させます。

クロスハッチ



本機の傾きや、本機がスクリーンに対して垂直に設置されているかを確認できます。

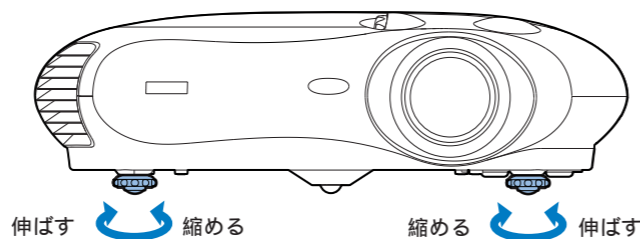
グレースケール



明るさの調整や、画質、色味を調整するときに使用します。調整は、ラインメニューで行います。映像信号が入力されていないときは、調整できません。

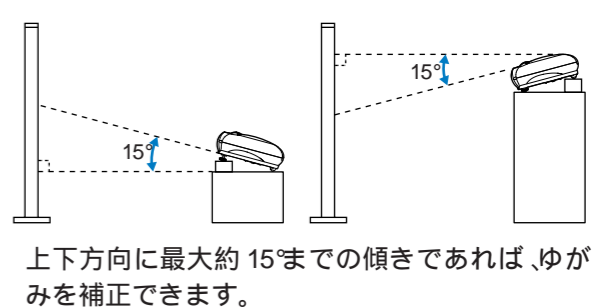
本機の傾きを補正する

投写映像が水平に傾いている場合は、フロントフットで本機が水平になるように調整します。



映像のゆがみを補正する (台形補正)

レンズシフトでの調整の範囲を超えて、さらに上下に投写したいときは本機を傾けて設置します。本機を傾けると投写映像が台形にゆがむことがあります。その場合は、操作パネルの [Trapezoidal] を押して調整します。ただし、レンズシフトで調整したときよりも、画質が低下することがあります。レンズを左右にシフトしているときは、完全に台形補正をすることはできません。台形補正を行う際は、レンズを左右方向の中心に設定してください。

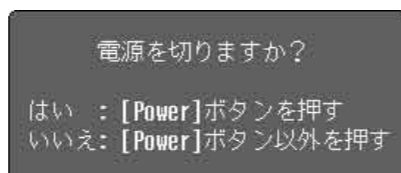


上下方向に最大約 15° までの傾きであれば、ゆがみを補正できます。

6 ▶ 電源を切り終了する

- 1 接続している機器の電源を切ります。

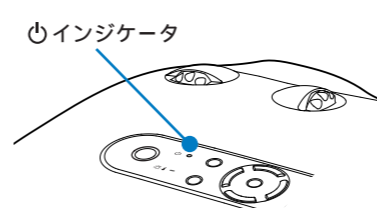
- 2 リモコンの [Power]、または本体の [Power] を押します。
[Power] を押した場合は右のメッセージが表示されるので、もう一度 [Power] を押します。



ポイント 内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルタの掃除や交換を行ってください。とメッセージが表示されたときは、または [Power] を押して、電源をオフにしたあと、メッセージに従って対処してください。

インジケータがオレンジ色に点滅し、ランプのクールダウンが始まります。クールダウン中 (約 30秒間) は、リモコンまたは本体の操作は無効になります。クールダウンが終了するとインジケータがオレンジの点灯に変わります (スタンバイ状態)。

注意 机上などに設置している場合、排気口側の機が熱くなりますので注意してください。



- 3 レンズカバーを取り付けます。レンズにホコリや汚れが付着するのを防ぐために、使用しないときはレンズカバーを取り付けます。

- 4 長期間本機を使用しない場合は、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜きます。必ずスタンバイ状態になってから抜いてください。電源プラグを抜いても、インジケータはしばらくの間点灯を続け、その後消灯します。

- 5 本機と接続している機器のケーブルなどを外します。